

令和8年度 公立小松大学入学者選抜試験
学校推薦型選抜（一般推薦）試験問題

課 題 作 文

【国際文化交流学部】

国際文化交流学科

（注意事項）

- 1 問題用紙は指示があるまで開かないでください。
- 2 問題用紙は本文1ページです。答案用紙は1枚です。
- 3 答案用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 答えはすべて答案用紙の指定のところに、縦書きで記入してください。
- 5 アルファベットや数字は、1マスに1字で記入してください。
- 6 字数制限のある解答については、句読点を1字と数えてください。
- 7 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

下の文章は日本画家の東山魁夷が書いたものです。この文章の内容に触れながら、「旅」や「観光」について、あなたの考えを 800 字以内で自由に書きなさい。

いままで、なんと多くの旅をして来たことだろう。そして、これからも、ずっと続けることだろう。旅とは私にとって何を意味するのか。自然の中に孤独な自己を置くことによって、解放され、純化され、活潑^{かつぱつ}になった精神で、自然の変化の中にあらわれる生のあかしを見たいというのか。

いったい、生きるということは何だろうか。この世の中に、ある時、やって来た私は、やがて、何処かへ行ってしまふ。常住の世、常住の地、常住の家なんて在るはずがない。流転、無常こそ生のあかしであると私は見た。

東山魁夷「風景開眼」、阿川弘之編『日本の名随筆 15 旅』、作品社、1983、p15